

平成29年度選挙啓発出前講座 実施実績

	県実施			市町村実施			合計		
	開催校数	開催回数	対象人数	開催校数	開催回数	対象人数	開催校数	開催回数	対象人数
大学・短大・ 大学校等	3	3	224	1	1	63	4	4	287
専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校	1	1	72	26	27	4,325	27	28	4,397
特別支援学校・ 養護学校	1	1	42	6	10	220	7	11	262
小中学校	0	0	0	3	3	192	3	3	192
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	5	338	36	41	4,800	41	46	5,138

※対象人数は、およその人数。

【大学・短大・大学校等】

No.	実施主体	実施年月日	学校	対象学年	参加人数	備考
(県実施)						
1	庄内地方事務局	H29.5.25	東北公益文科大学	1～4年	58名	
2	村山地方事務局	H29.6.20	羽陽学園短期大学	1年	88名	
3	置賜地方事務局	H30.1.26	米沢女子短期大学	1、2年	78名	
(市町村実施)						
1	新庄市	H29.5.10	県立農林大学校	1年	63名	

【専門学校】

No.	実施主体	実施年月日	学校	対象学年	参加人数	備考
実施なし						

【高校】

No.	実施主体	実施年月日	学校	対象学年	参加人数	備考
(県実施)						
1	本局	H29. 8. 21	県立加茂水産高等学校	2、3年	72名	模擬船員不在者投票
(市町村実施)						
1	山形市	H29. 11. 7	県立霞城学園高等学校	1～4年	22名	
2		H29. 12. 20	県立山形東高等学校	1年	240名	
3		H30. 2. 8	私立山本学園高等学校	2年	169名	
4		H30. 2. 20	私立東海大学山形高等学校	2年	242名	
5		H30. 3. 22	県立山形工業高等学校	2年	240名	
6	米沢市	H29. 5. 30	私立九里学園高等学校	3年	160名	
7		H30. 3. 8	県立米沢工業高等学校	2年	201名	
8		H30. 3. 15	県立米沢興譲館高等学校	1年	205名	
9	鶴岡市	H29. 4. 13	県立鶴岡南高等学校山添校	3年	20名	
10		H29. 8. 23	県立鶴岡北高等学校	3年	157名	
11		H30. 3. 19	県立鶴岡北高等学校	2年	143名	
12	酒田市	H29. 4. 11	私立酒田南高等学校	2、3年	240名	
13		H30. 1. 18	県立酒田光陵高等学校	1年	340名	
14	寒河江市	H30. 3. 16	県立寒河江高等学校	2年	187名	
15	上山市	H30. 3. 15	県立上山明新館高等学校	2年	252名	
16	長井市	H30. 3. 14	山形県立長井高等学校	2年	189名	
17	天童市	H29. 5. 31	県立天童高等学校	3年	156名	
18		H29. 11. 20	私立山形電波工業高等学校	3年	163名	
29	尾花沢市	H29. 11. 16	県立北村山高等学校	3年	84名	
20	南陽市	H30. 2. 8	県立南陽高等学校	3年	158名	
21	金山町	H29. 11. 28	県立新庄南高等学校金山校	全学年	80名	
22	高畠町	H30. 2. 7	県立高畠高等学校	2年	96名	
23	川西町	H30. 3. 15	県立置賜農業高等学校	2年	109名	
24	小国町	H30. 3. 19	県立小国高等学校	2年	26名	
25	白鷹町	H30. 2. 22	県立荒砥高等学校	2年	55名	
26	庄内町	H29. 9. 14	県立庄内総合高等学校	1～3年	300名	
27	遊佐町	H29. 9. 5	県立遊佐高等学校	全学年	91名	

【特別支援学校・養護学校】

No.	実施主体	実施年月日	学校	対象学年	参加人数	備考
(県実施)						
1	本局	H29. 12. 22	県立鶴岡高等養護学校	1～3年	42名	
(市町村実施)						
1	米沢市	H30. 1. 18	県立米沢養護学校高等部	1～3年	76名	
2	鶴岡市	H29. 5. 29	県立鶴岡養護学校高等部	3年	16名	
3	酒田市	H29. 11. 8	県立酒田特別支援学校高等部	全学年	22名	
4	新庄市	H29. 7. 14	県立新庄養護学校	3年	11名	
5		H29. 12. 15	県立新庄養護学校	2年	12名	
6		H30. 1. 19	県立新庄養護学校	2年	12名	
7		H30. 2. 2	県立新庄養護学校	3年	11名	
8	上山市	H29. 10. 31	県立上山高等養護学校	3年	25名	
9		H30. 2. 13	県立上山高等養護学校	2年	26名	
10	長井市	H30. 1. 22	山形県立米沢養護学校 (西置賜校)	1、3年	9名	

【小中学校】

No.	実施主体	実施年月日	学校	対象学年	参加人数	備考
(市町村実施)						
1	山形市	H30. 2. 1	山形市立西小学校	4年	74名	
2	鶴岡市	H29. 5. 12	鶴岡市立鶴岡第一中学校	2年	29名	
3	天童市	H30. 2. 19	天童市立南部小学校	6年	89名	

【その他】

No.	実施主体	実施年月日	実施した場所	対象学年	参加人数	備考
実施なし						

選挙啓発出前講座 今後の予定

【大学・短大・大学校等】

No.	実施主体	実施年月日	学校	対象学年	参加人数	備考
(市町村実施)						
1	新庄市	未定	県立農林大学校	1年	70名	

【高校】

No.	実施主体	実施予定日	学校	対象学年	参加人数	備考
(市町村実施)						
1	酒田市	未定	県立酒田光陵高等学校	1年	300名	
2	寒河江市	H31. 3. 15	県立寒河江高等学校	2年	200名	
3		H31. 3. 18	県立寒河江工業高等学校	1、2年	220名	
4	上山市	未定	県立上山明新館高等学校	2年	約250名	
5	天童市	未定	県立天童高等学校	3年	150名	
6		未定	私立創学館高等学校 (旧私立山形電波工業高等学)	3年	160名	
7	尾花沢市	未定	県立北村山高等学校	3年	未定	
8	南陽市	未定	県立南陽高等学校	3年	160名	
9	高畠町	未定	県立高畠高等学校	2年	100名	

【特別支援学校・養護学校】

No.	実施主体	実施年月日	学校	対象学年	参加人数	備考
(市町村実施)						
1	酒田市	未定	県立酒田特別支援学校高等部	全学年	20名	
2	新庄市	未定	県立新庄養護学校	3年	10名	
3		未定	県立新庄養護学校	2年	10名	
4	上山市	未定	県立上山高等養護学校	2年	約25名	

【小・中学校】

No.	実施主体	実施年月日	学校	対象学年	参加人数	備考
(市町村実施)						
1	西川町	未定	西川町立西川中学校	3年	50名	

【工夫や新規】

市町村	備考
山形市	<ul style="list-style-type: none"> ・独自のテーマ「山形市長選挙（山形市内にこの施設を設置します!）」で模擬投票を行った。（霞城学園、山本学園、工業高） ・山形税務署（租税教室）と共催で講座・模擬投票を行った。（東高、東海大山形） ・独自のテーマ「やっつけたい〇〇鬼を考えよう」と「東京2020オリンピックマスコットを決めよう」で、小学校で模擬投票を行った。 ・NPO法人ドットジェイピー山形支部の大学生に出前講座の手伝いや模擬投票の事務等を依頼した。
米沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬投票において、生徒に候補者役と開票事務をお願いした。
鶴岡市	<ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬投票のテーマ（争点）を現実に即すよう心掛け、高校生は「県立鶴岡病院の跡地利用」、中学生は「新文化会館のオープニングイベント」と設定した。また、養護学校は受講者が判断しやすいよう「学校祭のメインイベント」をテーマとした。 2. 中学生は「職場体験学習」の1つとして実施し、前半は市議会議員の仕事について実際の議場を会場として市議会事務局より説明があり、後半で選挙制度の説明と模擬投票を実施した。 3. 受講者が少人数の場合は、入場券・名簿に受講者本人の名前を記載し、名簿対照を行った。 4. 必ず、めいすいくんのぬいぐるみを持参し、開講時の導入部分で活用した。
酒田市	<ul style="list-style-type: none"> ・光陵高校の講座の際の模擬投票では、実際のH29衆院選をテーマに使用。講座開催約1週間前に事前学習的に各教室に選挙公報（表・裏）を掲示してもらい、講座当日の投票に臨んだ。架空の選挙をテーマにするよりも食いつきがよい。候補者の説明をしなくて済むので、時間短縮にもなる。今後、選挙が近くにあった場合は積極的に使用していきたい。
寒河江市	<ul style="list-style-type: none"> ・寒河江高等学校の「18歳選挙権に係る主権者教育推進授業」の中で行った。
長井市	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬投票の開票を実際の選挙で使用する機器を使用し生徒によって行った。
天童市	<ul style="list-style-type: none"> ・天童高校では、模擬投票に生徒自身が市長選の候補者となり演説をした。授業の中で、政策を話し合った。 ・電波高校では、税務署とのタイアップで講座を行い、模擬投票は、直接税増税派と間接税増税派の候補者で投票を行った。
南陽市	<ul style="list-style-type: none"> ・南陽市の青年教育団体「HOPE」による「南陽宣隊アルカディオン」にも協力をしてもらった。 ・模擬投票では、受付・投票用紙交付・立会人・開票を生徒に依頼した。
金山町	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生による模擬議会の開催に伴って、議員候補者の模擬選挙を実施した（当落は付けず）。投票所では、より本番を想定したものにするために記載台や投票箱を貸与し、投票管理者や投票立会人を生徒に依頼した。
川西町	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に模擬投票の立会人、投票所事務の手伝いを依頼した。
庄内町	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な庄内町長選挙を題材に講話した。
遊佐町	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生徒会役員選挙の際に出前講座を実施し、選管所有の記載台、計数機等を使用し投開票を行った。